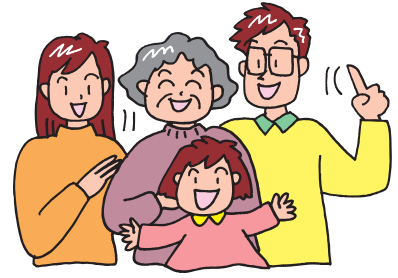


# 日頃からの備えは大丈夫?!

## 家族防災会議を開こう

地震が発生した時に、被害を最小限とするためには、日頃の備えが肝心です。わが家の家族防災会議を開き、地震が発生した場合について、話し合っておきましょう。



### ●家族の役割分担

地震が起きた時に備え、家族一人ひとりの役割を決めておきましょう。  
火を消す人、ドアを開ける人、お年寄りを守る人、非常持出し品を管理する人など。

### ●わが家の危険なポイントチェック

わが家の危険箇所をチェック!大きな地震の揺れで、倒れそうなタンスや落ちてきそうな物など、どこが、どのように危険なのか、家族みんなで話し合い、その対策を立てましょう。

### ●非常持出し品や備蓄品

9ページにある「非常持出し品・備蓄品リスト」を使って、わが家の非常用品のチェックをしましょう。家族みんなで、何が、どこにあるかを確認すると、もしもの時もあわてません。

### ●家族との連絡方法

学校や職場、外出先で、地震が発生することもあります。もしもの時の家族との連絡方法を確認し、「わが家の防災メモ」に書き込みましょう。「災害用伝言ダイヤル」なども、使い方を覚えておくと安心です。子どもには「避難カード」を持たせると確実です。

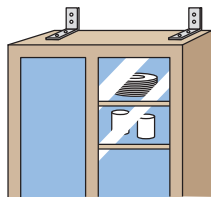
### ●わが家の防災マップづくり

避難場所まで実際に歩いて、どのくらいの距離があるのか、途中、倒れやすい塀などがないか、危険な箇所はないかを確認しましょう。実際に歩いて、わが家の防災マップを作成するといざという時に、確実に避難場所へ行くことができます。

## わが家の安全対策

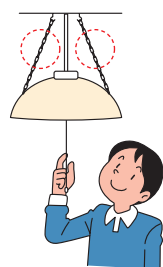
### ●家具の転倒防止

- テレビ、タンス・棚、食器棚を固定
- テレビは重量物。四隅に粘着性の耐震シートを貼るか、バンドタイプの固定具で固定します
- タンス・棚は、L型金物を木ねじで止める方法が一番。壁を傷つけられない場合には、固定具などを使うと便利
- 食器棚は、中にある食器が飛び出す危険が
- 食器棚の中に滑り止めマットを敷いたり、扉が開かないよう留め具を付けること



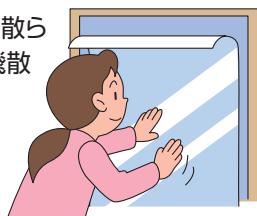
### ●照明器具の地震対策

- 照明器具は、地震の揺れで落下したり、天井にぶつかって割れる恐れが
- 天井に1箇所固定するのではなく、チェーンなどで数カ所止める
- 電球などは、飛散防止対策をしたものに替えると安全



### ●窓ガラスの飛散防止

- 大地震では、窓ガラスは割れてしまいます
- 割れても破片が飛び散らないよう、ガラスに飛散防止フィルムを貼る



### ●火災予防対策

- 地震で一番怖いことは、火災
- 台所には、必ず消火器を設置し、有効期限は、毎年確認
- 住宅用火災警報器は、必ず設置
- コンセントに水がかかるとショートするので、電化製品の近くには水を置かない
- テレビや家電製品の近くの花瓶や水槽などの水は、地震でこぼれて火災を起こす原因になる

